

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。  
◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 【結果について】

### 〈学習に関わる強みと弱み〉

#### ◇国語

- ・正答率は全国平均を下回る結果となったが、学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う設問については、全国、滋賀県の正答率を上回っており、言語の習得に関しては日々の学習の成果が見られる。
- ・情報を相手に分かりやすく伝える工夫の仕方、話し手の意図をとらえながら聞くこと、要点をまとめて自分の考えをまとめたり要点を読み取ったりすること等に関する設問において正答率が低くなっている。
- ・複数の条件を踏まえながら自分の考えをまとめて表現する（書く）ことにおいては、正答率も低く無回答も3割程度見られた。
- ・全体的に記述や読み取りなどの設問で、無回答率が多かった。

#### ◇算数

- ・正答率は全国平均よりもやや下回った。
- ・数と計算の領域では、基礎的な計算の仕方は理解できていても、 $6+0.5\times 2$ という四則混合の計算で正答率が低いことから、計算ができるだけではなく、記号の意味や相互の関係も含めて理解する必要があるという課題が見られた。
- ・全ての領域において基礎的な問題は正答できていても、比べたり応用したりする問題は正答率が低いという課題が見られた。たとえば、棒グラフから資料について読み取ったり、示された除法の式の意味を理解する問題に関しては、全国平均を上回ったが、2つのグラフを比較したり、傾向を読み解く部分に課題が見られた（裏面）。
- ・複数の情報の中から必要な数量や情報を選択したり、見極めていったりする力をつけていく必要がある。

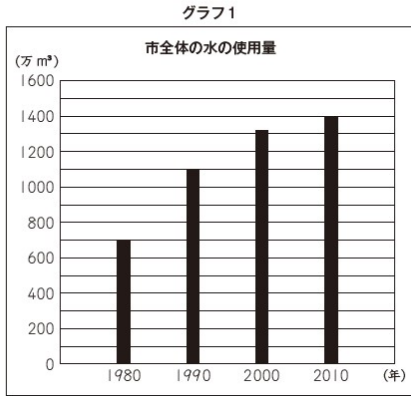
### 〈生活に関わる強みと弱み〉

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」では全国平均を上回った。また、国語や算数の学習が大事であると感じている児童は多い。しかし、調査の結果とうまく合致していないところが本校の課題である。児童の描いている将来の目標に少しでも近づけることができる取組を教育課程に反映させていく必要がある。
- ・地域の方の働きかけにより、地域行事に参加している児童はたくさんいる。しかしながら、自治会、子供会、スポーツ少年団など、興味はもっていても子どもだけでは参加できないため、うまく関われない場合が多い。その結果、地域に対しては関心が低い面がある。

## 【指導の充実に向けて】

- ◇漢字、語彙、文章の書きぶりなどを充実させていくためにも、朝の読書タイムや宿題で出される音読を充実させていく必要がある。学校だけの取組ではなく、家庭も巻き込んで、朝読書の本を書店で一緒に選んだり、図書館で一緒に借りたりする習慣を育てていく。
- ◇計算力は算数を学習する上で常に必要な力である。着実に力を付けていくためにも計算練習ばかりをさせるのではなく、自分で四則計算のルールに則って問題を作る場面を作るなどの場面も盛り込んだ系統性のある教育課程の作成を行い、学校全体で取り組んでいく。
- ◇各教科にわたり、自分の言葉で話したり書いたりする学習場面を意図的に設定し、自分の考えを表現する力を育てていく。
- ◇ICTの積極的な活用を図り、有効な学習方法の一つとして位置づけていく。
- ◇どの子ども楽しみながら主体的に学習に取り組んでいけるよう、授業改善に取り組む。誰もがわかる授業を展開していけるよう、ペア学習やグループ学習などにおける学び合いの場を大事にしていく。
- ◇児童一人ひとりの姿を見取り、その努力や成長を認め、自信を持たせることで自尊感情を高める。

かいとさんたちは、水を大切にしているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、**グラフ1**を見つけました。



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、**グラフ1**からどのようなことがわかりますか。

下の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

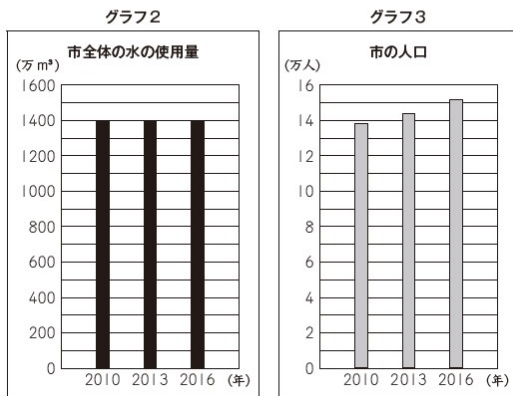
- 1 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(2) **グラフ1**の、**2010年**の市全体の水の使用量は、**1980年**の市全体の水の使用量の約何倍ですか。

答えを書きましょう。

(1)全国平均並み(2)全国平均を上回る結果となった。  
1つのグラフから傾向を読み解くこと、またその数量関係等、直感的に捉える力は十分と言える。

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思います、**グラフ2**と**グラフ3**を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



あやさんが言うように、**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、**グラフ2**と**グラフ3**からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(3)全国平均を下回る結果となった。  
2つのグラフを見比べ、そこからわかることを記述する力には課題が見られた。

2を選んだ児童 25%  
3を選んだ児童 21%

2または3を選んだ児童は、どちらか一方のグラフで判断したと考えられる。

わたくし 私たちは、水を大切にしているといえるのでしょうか。  
かいと

市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかはわかりません。  
ゆうか

グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。  
あやの

(4) さらに、かいとさんは、自分が家で水をどのくらい使っているのが気になる、洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、下の式を考えました。

【かいとさんが考えた式】

$$6 + 0.5 \times 2 = \text{㊦}$$



かいと

【かいとさんが考えた式】の、㊦に入る数を書きましょう。

(4)全国平均を下回る結果となった。  
誤答の中で最も多かったのが「13」と解答したもの。左から順に計算するのが基本であるが、挿絵をヒントにして1日あたりの「洗顔で使う分」「歯みがきで使う分」と分けて考えて計算できると良かった。挿絵もヒントとして読み解く力が必要と思われる。